

## 第8回 西宮市立中央病院の跡地にかかる地域懇談会 議事概要

開催日時：令和6年7月8日 14:30～16:00

開催場所：西宮市立中央病院 講義室

出席委員：9名（2名欠席）

市側出席者：中央病院）事務局長、病院改革担当部長、病院統合推進課  
財務局 ）資産管理部長、資産活用担当課長

傍聴の可否：可（傍聴者4名）

### 【議事概要】

#### 事務局説明

病院統合推進課から前回会議(R5.11月)以降の動き（財政構造改善の取り組み／中央病院跡地の活用案の見直し／民間医療期間の誘致に向けた動向／今後のスケジュールについて）を報告した。

#### 意見交換

- 委員 令和6年4月に兵庫県保健医療計画が見直され、阪神医療圏域の基準病床数が増加したことで、他圏域からの参入が原則可能となったとの説明がありましたが、西宮市内へ参入を検討している民間医療機関はいますか。
- 市 建設費高騰等の影響で新設は難しく、参入を希望する事業者は多くはない状況です。
- 委員 阪神医療圏域の基準病床数の見直しについて、西宮市の民間医療機関などは納得しているのでしょうか。
- 市 今年2月に民間医療機関を含む地域の医療関係団体の代表者が集まる地域医療構想調整会議にて県から説明が行われましたので、情報は把握されていると思います。誘致する民間医療機関の開設許可について、同会議で承認が得られるかどうか、今後の懸念点です。
- 委員 兵庫県保健医療計画の見直しについて、他圏域（大阪、神戸）の動向はどうなっていますか。例えば、神戸の基準病床数が減少して西宮が増えたということはありませんか。
- 市 他圏域の動向について詳細には把握していませんが、基準病床数が足りないというのはあくまで数字上の問題であり、いずれにしても、これから兵庫県が病床数の配分を行っていくこととなります。
- 委員 中央病院は築50年が経過していますが、リノベーションをすれば使用で

きるのか。耐震化などの基準は満たしているのか。基準を満たすのに大規模な改修が必要になるなどあるのでしょうか。

市 現施設は耐震補強を行っています。また、本市では、学校などの建物も 80 年使用できることを目標に長寿命化改修等を行っています。今後、鉄筋の状況など構造物の調査を行った結果を踏まえ、事業者がリノベーションをして使用可能か判断することになります。

委員 リノベーションでの使用に問題点はありませんか  
市 現行の病院開設基準に適合出来るかの条件整理をしています。

委員 高齢者福祉ゾーンの 3000 m<sup>2</sup>が動くことが大前提ですか。  
市 財政構造改革の一環として、高齢者福祉ゾーンの見直しが進められています。中央病院跡地は都市部に位置し、比較的土地の価格が高いため、市有地で土地価格も安価な代替地を探しています。候補地として、甲陽園の市営住宅の跡地があり、福祉事業者に対してサウンディング型市場調査を数日前に行いました。今後、市の内部で 3,000 m<sup>2</sup>をどのように活用するかを検討する予定です。

委員 高齢者福祉ゾーンの代替地が決まった場合、近隣住民や利用したい人にとっては場所が遠くなる可能性がある。それは致し方ないと理解するべきでしょうか。特別養護老人ホームが近くにないため、近隣に設置を要望する声があります。また、マンションが建設されることには反対です。

市 10,000 m<sup>2</sup>を利用できることにより、リノベーションでの活用可能性も出てきます。また、病院誘致だけでは資金的に弱いので、資金力のあるマンションを併設することで、医療の誘致が実現することも考えられます。

委員 市の財政赤字補填のために中央病院が利用されることには反対です。以前の説明では、マンション開発の規制緩和が行われると聞いていたが、これはマンションを誘致するための伏線だったのではないか。そもそも、どこがマンション開発の規制緩和を申し入れたのか。

市 教育委員会が周辺の学校の空き状況や児童数を踏まえ、マンション開発の規制緩和を行いました。現時点ではマンションを誘致するという話ではなく、まずは医療を誘致することが前提です。ただ、医療だけでは採算が取れないため、例えば、収益力のあるマンションとセットで誘致することも検討している状況です。

委員 マンション開発には反対です。財政の赤字補填のために市の財産を売ることは簡単なことですが、そもそも赤字になった根本の原因は何なのかを考

えるべきです。市政の構造的な赤字体質を、市議会議員や市長が改善しなければならない。一次的な収益のために市有地を売却することには反対です。病院の誘致ができなければ、このまま病院を凍結しておくべきです。物価や建設費が落ち着けば、病院を建てる機運も高まるでしょう。

市 市の財政赤字の原因には、人件費のほか、市が保有する施設の量や、他市と比べて手厚いサービスなどが挙げられます。それぞれ見直しが必要ですが、すぐにすべて見直せるわけではありません。この土地以外にも塩漬けになっている土地を積極的に売却するよう指示を受けています。

委員 リノベーションを行うと、10,000 m<sup>2</sup>はマンション用地にならない認識でよいですか。

市 そのとおりです。

委員 わかりました。その方向で引き続き進めてもらいたいです。

委員 リノベーションの場合、改修工事は約2年で終わるが、解体・新築の場合は約5年かかる。したがって、リノベーションの方が近隣住民にとっては喜ばしいことになると考える。鉄筋などの構造物を調べ、何年使用できるかについての調査結果は年内にわかりますか。

市 年度内には、医療機関と意見交換を行う予定であり、我々も年度内には建物の状況を把握するつもりです。あくまでリノベーションの可能性を探る段階であり、現時点では可能性を絞るのではなく、広く門戸を開けておきたいと考えています。

委員 個人的な意見ですが、町の真ん中に高齢者福祉施設を建てるのではなく、もっと静かな環境に建てるべきだと思います。スケジュールの優先順位として、高齢者福祉ゾーンの見直しが最優先ですか。

市 代替地を探していて、サウンディング型市場調査も行っており、市として決定していく予定ですが、3,000 m<sup>2</sup>の代替地が決まらない場合は、中央病院を解体しなければなりません。そのため、高齢者福祉ゾーンの代替地が決まらなると、民間医療機関とも意見交換できない状況で動きづらく、早めに決定する必要があると考えています。

委員 年内の12月までなのか、期限をしっかりと定めておくべきではないか。また、計画が決定すれば、地域懇談会で報告してもらいたいです。

市 いつまでに決めるのかということですが、民間事業者など相手ありきの話のため、非常に難しいです。

委員 今後のスケジュールが漠然としていて、わかりづらいです。例えば、高齢者福祉ゾーンの見直し決定はいつの時点で判断するのか、見直しができる

場合とできない場合のそれぞれの想定も記載しておくべきです。流れがわかるように資料に記載してほしいです。

市

今回は、地域懇談会を半年に一回開催することを優先させていただき、スケジュールについて具体的な時期を明示できておらず申し訳ありません。進め方としては、資料に記載のとおり進めたいと考えています。次回以降は、可能な限り、詳細な情報を記載したいと思います。

座長

以上をもちまして、第8回西宮市立中央病院の跡地にかかる地域懇談会を終了いたします。

以上